代表質問

大型公共事業の推進と財政計画との整合性は

社民・民進・護憲クラブ
松尾　哲也　議員

過去を振り返っての現状認識

問　市の財政が厳しくなる中、三池炭鉱の閉山以降の厳しかった当時と比べた、今の財政状況の認識を聞きたい。

答　扶助費を除く費用は、当時と比べ大幅に圧縮しており、ある意味余裕がなくなってきている。人口減少、高齢化が一層進展し、市税の減少、社会保障費が増加しており、財政的により厳しい状況にある。

今後のまちづくりと財政見通し

問　今後、大型事業が計画される中、財政計画との整合性は。

答　現時点での財政計画から考えると、既に選択している事業であっても、新たに事業選択をする場合、中止、先送りの判断も必要と考える。

今後のＲＤＦ発電事業とごみ処理方法

問　平成34年度末で終了するRDF発電事業について、県に負担軽減と新たな地域振興支援などを要望されたが、市長の感想を聞きたい。

答　要望内容を真摯に受け止めていただいたと考えており、今後も県内の４組合２町と連携を図りながら、要望事項の確実な実施を県に求めていきたい。

問　平成35年度以降のごみ処理方法については、新施設を建設する案と、今のＲＤＦセンターを５年以上継続使用した後で新施設を建設する案を検討中だが、今後のスケジュールを聞きたい。

答　大牟田、荒尾の両市議会で検討していただき、早い時期に大牟田・荒尾清掃施設組合議会の全員協議会の開催をお願いしたいと考えている。

大牟田・荒尾ＲＤＦセンター

公共施設の利活用に関する方針案

問　公共施設を売却、縮小、解体するのにも巨額の資金が必要と思うが。

答　施設に合った解体方法などを検討し、金額も大きいため、計画的に進める必要がある。

問　勝立地区公民館については、当面は施設の耐震化を行い継続使用するとあるが、地域の方と意見交換後の感想は。

答　29年度に耐震調査を行うことについての理解は一定いただいていると考えている。

今後、改修等についても説明し、理解を求めていきたい。

再発言　地域の意見を十分聞いた上で、勝立中学校の跡地を地区公民館として使用することも検討してもらいたい。

交通問題

問　29年度策定予定の大牟田市地域公共交通網形成計画について聞きたい。

答　市内や周辺地域で途切れることのない公共交通網の確保・向上を目指した基本的方針であり、目標や事業などを位置づけることとしている。

問　運転免許保持者の高齢化が進む本市は、自主返納者に対して手厚い支援が必要だと思う。高齢者運転免許証自主返納促進事業の考えを聞きたい。

答　自主返納の促進を図るため、今後も庁内の関係部局、警察、民間事業者と連携しながら取り組んでいきたい。

公共工事の入札不調

問　公共工事の入札不調のため、市民生活に影響を及ぼすこともある。入札不調の現状と今後の対策は。

答　入札不調は増加傾向にあり、発注時期を分散させ、平準化を図り、取り組んでいく。